



2023 年度 中国における日系企業及び外資企業投資動向

～前書き～

中国商務部の統計によると、コロナ禍の 2020 年から 2022 年までの 3 年間で、中国向け FDI(海外からの直接投資)はそれぞれ 1,444 億ドル、1,735 億ドル、1,891 億ドルと拡大傾向が見られたものの、2023 年 1-12 月の FDI は 11,339 億元と前年同期比 ▲8%減少、米ドルに換算した場合の FDI は 1.596 億ドル(注 1)と前年同期比 ▲15.5%となった。同時に、在中国での日系・日系以外の外資企業が過去 1 年でそれぞれ代表の投資案件が公開された。どのような投資が行われたのか、その件数や金額及び業界ごとの特徴、投資に至った背景などについて取りまとめを実施。

統計詳細及びまとめ	2
➤ まとめ.....	2
➤ 統計対象・時期	2
➤ 各日系・外資企業の業界別分類.....	2
中国における日系企業及び外資企業投資動向.....	3
➤ 2023 年度に中国で行われた投資件数と金額について.....	3
➤ 投資手法の分類について	3
投資金額及び業界別投資理由の特徴.....	4
➤ 日系企業・外資企業全体の投資金額内訳比較	4
➤ 業界別の投資内訳(機械、企業サービス、素材)	4-5
➤ 投資国別件数及び投資金額の比較について.....	6
➤ 在中国ドイツ企業の景気動向調査アンケート.....	6
➤ 戦略提携の主な理由	6
Appendix	7
➤ 外資・日系自動車投資事例	7
➤ 外資素材・日系企業サービス投資事例	7-8
➤ 自動車業界・化学業界戦略提携事例	9

(注 1)2024 年 4 月時点の平均換算レートを使用(1ドル=7.1 円)

統計詳細及びまとめ

～まとめ～

2023 年通年では、合計 106 件(下記「統計対象・時期」をご参照)の外資系企業による投資や会社新設に関する報道があり(弊行統計ベース)、日系・外資共に自動車や自動車部品を中心とする機械業界に分類される企業の投資が牽引した。投資額の合計は 1,854 億円、国別に多い順でドイツ(801 億円)、日本(341 億円)、スイス(241 億円)であり、ドイツ企業の積極的な投資が目立った。

独資による新規投資の特徴として、日系は化粧品会社の統括会社設立・素材系企業の工場移転を除くと、大半は販売・営業強化が目的。対して外資は自動車・化学系企業の R&D 強化や医薬品関連の本部企業設立が中心。

また日系は中資との合併企業設立が全体の 2 割を占める一方、外資は僅か 7%の結果となった。新事業に関する投資においては、外資が 27%と日系を 21%上回った。日系は出資を伴う資本連携を選ぶ傾向にあり、外資は地方政府との業務提携の報道が中心となり、それぞれ中国市場へのコミットに違いがある。

投資を増加させる背景や要因としては、在中国ドイツ企業の景気動向調査アンケート(P6)をご参考いただきたくも、中国市場での競争力を維持することが主な理由である一方、多くの企業は市場需要に見合った製品を提供できていないことを課題と捉えている。更には R&D を強化することが競争力維持に直結するとし、投資件数に反映されない戦略提携(P6)では、約 4 割の企業が新技術や新製品開発のために業務提携を結ぶ動きが確認されている。

～統計対象・時期～

2023 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日までの間に公開情報で新規投資、増資、戦略提携などの報道がされた日系・外資企業(日系企業を除く外資企業全般を指す)を統計対象としている。全て網羅されていなく、弊行が把握している件数で日系は計 46 社、外資は計 60 社であった。下表の構成比は全体に占める割合を表示したものであり、製造業は外資が多く、サービス業は日系の方が多くことがわかる。具体的な代表投資事例は Appendix をご参照頂きたい。

～日系・外資企業業界別分類～

製造業	細分類	企業数		構成比		非製造業	細分類	企業数		構成比	
		日	外	日	外			日	外	日	外
機械	電気・電子機械	19%	30%	41%	54%	半耐久財	医薬・化粧品	3%	8%	1%	14%
	一般機械						医療品				
	自動車・部品・ その他輸送機器						食料品				
	素材					化学	8%	13%	17%	23%	企業 サービス
鉄鉱・非鉄・ 金属製品		運輸									
石油・プラスチック・ ゴム製品		コンサル・研究・ 技術									
繊維・織物		金融									
紙・パルプ・印刷		不動産									
		情報通信									
		建設・土木									
		不動産									
耐久財	事務用器具	2%	2%	1%	1%	家計 サービス	小売り	5%	1%	11%	0%
	精密機器						旅行・ホテル				
	体育・楽器用品						飲食				
	木材・木製品 /家具・建材										

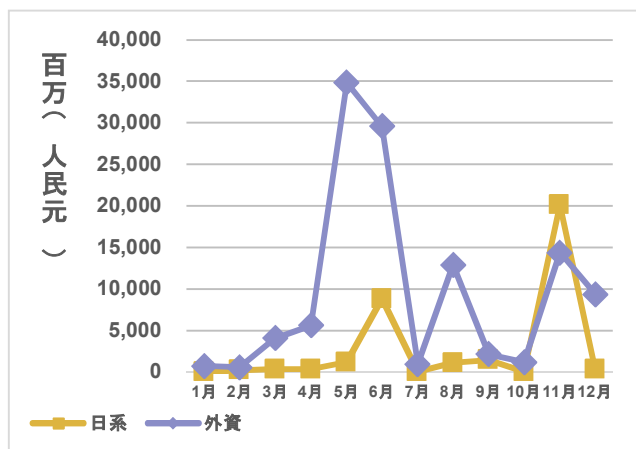
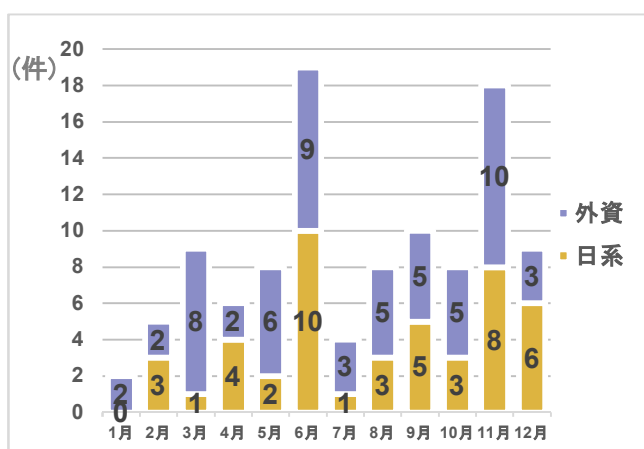
中国における日系企業及び外資企業投資動向

➤ 2023 年度に中国で行われた投資件数と金額について

2023 年 1 月から 12 月にかけて、新規会社設立や増資、工場拡大などを対象に含む中国への投資件数は日系企業で 46 件、外資企業 60 件の計 106 件であった。

投資金額の推移を公開情報ベースで表したところ、通年では合計で約 1,498 億元の投資が行われ、外資による投資金額は 1,513 億元、日系企業による投資金額は 341 億元となり、投資件数と投資金額の合計においていずれも外資企業が上回った。また、投資件数と投資金額が比較的集中したのは 5-6 月、11-12 月であった。(※投資金額は計 106 件の報道のうち、金額が公開で報道された先のみを統計対象としている。)

【図表 1】2023 年度の新規投資件数及び投資金額

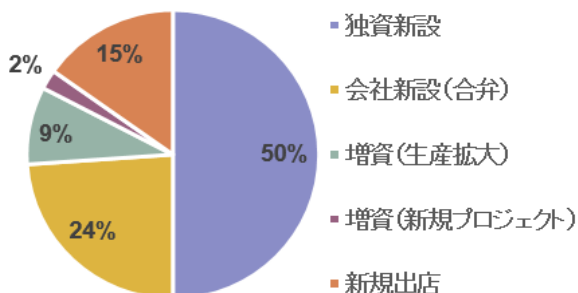


(出所)弊社作成

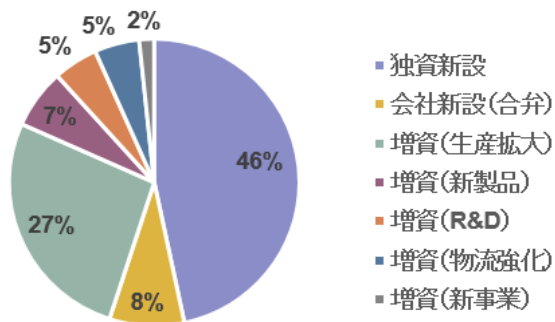
➤ 投資手法の分類について

投資種類については、独資新設、合併設立、増資と新規出店の 4 つに分類しており、日系外資いずれも独資新設が約半数となった。合併の立ち上げについては日系企業の方が 9 件報道され、その数は外資を上回った。設備拡大のために追加投資を行う企業は外資企業が 15 件報道されており、その割合は日系企業の 5 件よりも多い。新事業投資へ分類した投資プロジェクト締結などにおいては日系が 3 件、外資企業が 17 件と外資の方が積極的に投資意向を表明する動きがあった。店舗開設など新規進出においては日系企業が 7 件報道されている。

【図表 2】日系企業 新規投資の種類
投資報道件数/46 件



【図表 3】外資企業 新規投資の種類
投資報道件数/60 件(予定含む)



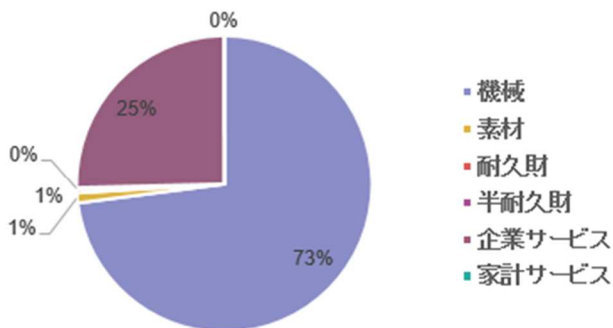
(出所)弊社作成

投資金額及び業界別投資理由の特徴

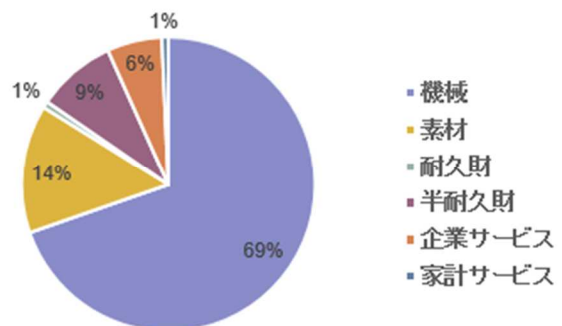
➤ 日系企業・外資企業全体の投資金額内訳比較

本章では企業を P2 の通りに分類し、業界や細分類ごとの投資金額及び件数などより日系企業と外資企業の比較を行った。図表 4、5 の通り投資金額が最も集中した業界は日系・外資共に機械分野であった。日系企業では主に機械分野と企業サービスに投資が集まるなど投資分野が集中しているのに対し、外資では機械のほか素材や半耐久財、企業サービスなどと投資が比較的分散していることがわかる。投資額全体で比較した場合、日系企業の投資額は合計約 341 億元であり、外資はその 4 倍超の 1,513 億元となった。以下では投資金額が多い業界を中心に詳しく見ていく。

【図表 4】日系企業の業界別投資金額
投資報道件数/42 件 合計金額 約 341 億元



【図表 5】外資企業の業界別投資金額
投資報道件数/55 件 合計金額 約 1,513 億元



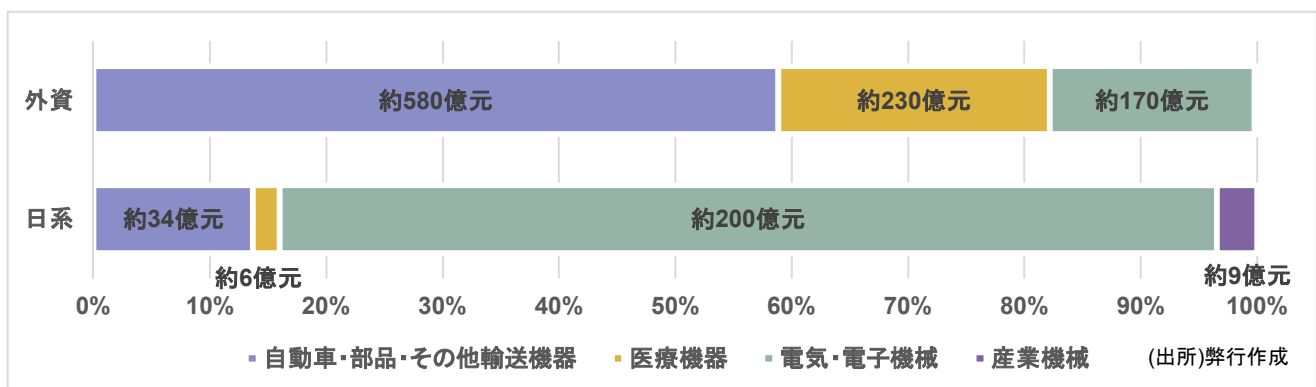
(出所)弊社作成

➤ 業界別の投資内訳(機械)

機械業界は日系・外資共に全体の割合に占める投資額は最大であるとの共通点がある一方、内訳では両者の間に大きな違いがみられた。図表 6 によると、日系は電気・電子機械への投資が約 8 割を占めたのに対し、外資では自動車・部品・その他輸送機器の業界への投資が約 6 割を占める結果となった。

投資合計金額では、日系と外資とで約 4 倍の差が存在。日系電気・電子機械の投資理由は多い順にそれぞれ販売・営業強化(75%)、現地メーカーとの提携(25%)であり、金額に最も大きく貢献したのはフェローテックによる浙江省での合弁会社設立(200 億元)。外資電気・電子機械の投資理由は多い順にそれぞれ R&D 強化(50%)、生産拡大(50%)。金額に最も大きく貢献したのはジェイビルによる成都での R&D 拠点新設(100 億元)。

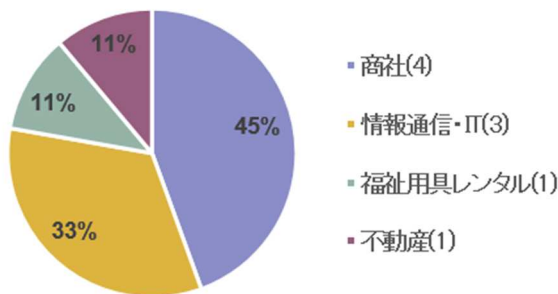
【図表 6】日系及び外資別の機械業界投資金額内訳
投資報道件数/18 件(日系)、24 件(外資) 合計金額 約 250 億元(日系)、約 985 億元(外資)



(出所)弊社作成

➤ 業界別の投資内訳(企業サービス)

【図表 7】企業サービス業界投資金額内訳(日系)
投資報道件数 9 件 合計金額 約 86 億円



(出所)弊行作成

➤ 業界別の投資内訳(素材)

図表 8 より、全体のうち素材分野への投資は日系が 1%、外資が 14%の結果となり、件数及び金額の両方において、外資企業の方が日系企業よりも多く素材へ投資している。カテゴリー別では日系外資共に化学分野への投資件数が最も多い。

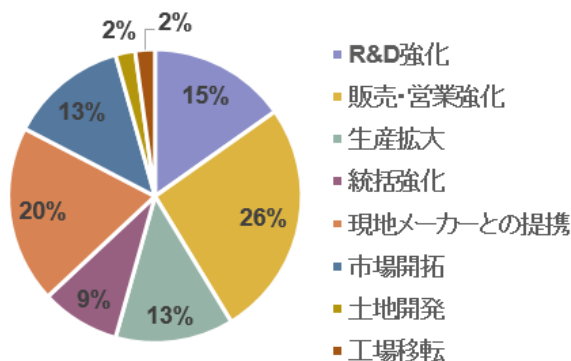
外資においては金鷹集団(星)による山東省でのパルプ投資契約の締結(150 億円)により、紙・パルプ・印刷分野の投資額に大きく寄与している。外資化学分野の投資理由は多い順に生産拡大(62%)、R&D 強化(25%)、技術サポート(13%)。金額に最も大きく貢献したのはワッカーによる江蘇省での生産ライン増設。(236 億円)

➤ 新規投資の主な理由

日系と外資との投資理由を比較したところ、日系では販売や営業拠点の拡大を目的とした投資が全体の 3 割であり、外資企業では生産拡大のための投資が約半数を占めた。日系の 2 番目に多い投資理由では、中国での合併会社設立と現地メーカーとの提携によるシナジー効果を狙ったものがある。外資企業の 2 番目に多い投資理由としては R&D 強化であり、全体の 37%を占めた。

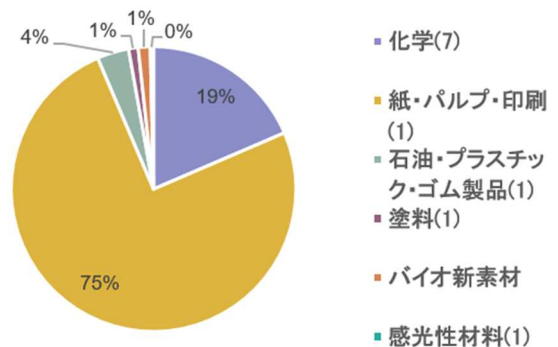
【図表 9】日系企業全体 新規投資の主な理由

投資報道件数/46 件



【図表 8】素材業界投資金額内訳(外資)

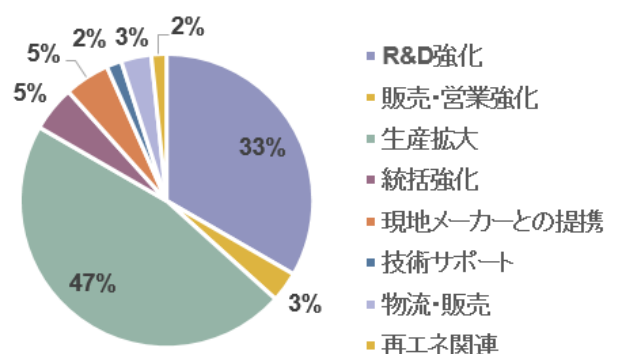
投資報道件数/12 件 合計金額 約 200 億円



(出所)弊行作成

【図表 10】外資企業全体 新規投資の主な理由

投資報道件数/60 件

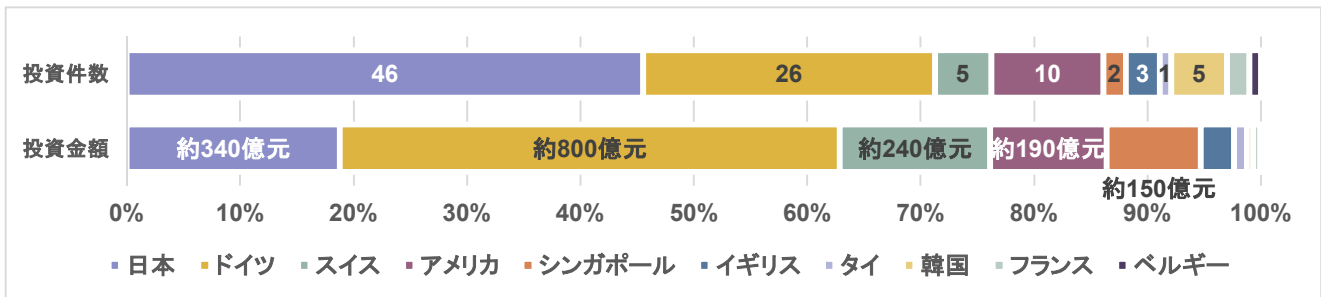


(出所)弊行作成

➤ 投資国別件数及び投資金額の比較について

国別投資金額は多い順にドイツ、日本、スイス、アメリカ、シンガポールとなった。日系を除いた外資企業のうち、ドイツによる投資は金額及び件数共に最大となった。

【図表 11】外資企業投資件数及び投資金額の比較

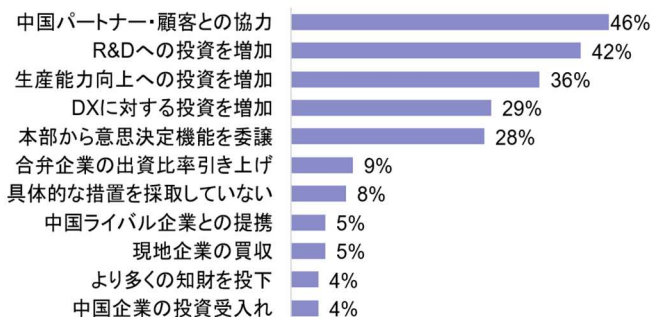


(出所)弊行作成

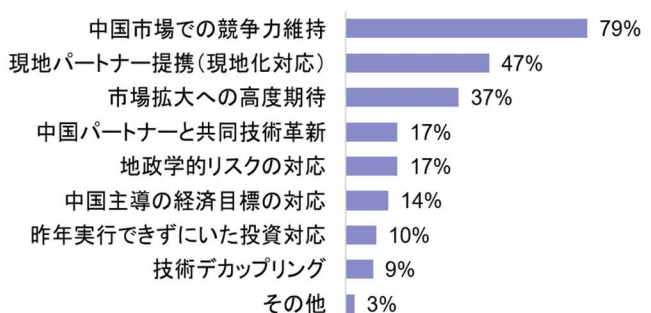
➤ 在中国ドイツ企業の景気動向調査アンケート

ドイツ企業が積極的に中国で投資する背景について参考にしたいのが 2023 年 9 月 5 日から 10 月 6 日の期間において、中国ドイツ商会によって実施されたアンケート調査である。中国に所在する 566 社のドイツ企業を対象とした景気動向調査によれば、投資を増加させる原因として競争力の維持が、ドイツ企業が中国への投資をさらに進める主な動機であり、2 位の理由を 31%上回っている。また 17%の企業は、中国現地パートナーとの共同イノベーションのために投資を増やすと回答。

【図表 12】ドイツ企業が中国での投資を増加させる原因
回答数/566 件



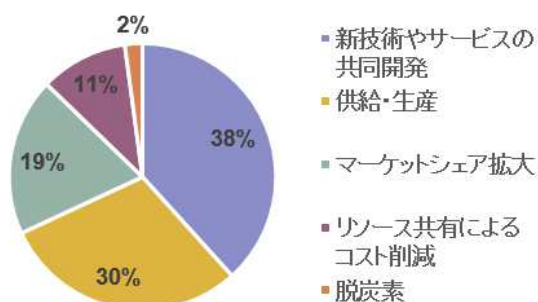
【図表 13】ドイツ企業が中国での競争力維持のための措置
回答数/55 件



(出所)中国ドイツ商会の公開情報に基づき弊行作成

➤ 2023 年度報道された戦略提携

【図表 14】戦略提携の主な理由
報道件数/48 件



(出所)弊行作成

戦略的提携には、書類上で提携の契約を結ぶ「事業提携」と、出資を伴う「資本提携」が存在する。上記投資件数には反映されなかったものの、2023 年度では合計 48 件の戦略提携案件が報道され、そのうちの 4 割弱が自動車業界に所属する企業であった。内容は左記のとおり 5 分類しており、攻めの姿勢としての取り組みが全体の 9 割ほどであるのに対し、守りの姿勢としてリソースの共有によるコスト削減や脱炭素の対応なども一部存在。

新技術の共同開発や供給体制の構築などの整備は今後合併企業の設立あるいは出資を伴う形でハードキャッシュによる投資につながる可能性もあるため、引き続き注意深く見ていきたい。

Appendix. 投資事例

＜自動車業界 日系投資事例 TOP5＞

	社名	投資金額	種類	地域	概要
1	広汽 トヨタ	10.8 億元	増資 (新規プロ ジェクト)	広東省	広汽豊田汽車有限公司(トヨタとの合併)が進める「480D 事業プロジェクト」を承認したと報告した。プロジェクトの詳細は明らかにしていないものの、投資総額は 10 億 8100 万人民币元(約 212 億円)を想定
2	トヨタ 自動車	10 億元	会社新設 (合併)	上海市	トヨタ自動車は 4 日、広州汽車集団との合併である広汽豊田汽車(広汽トヨタ)、自動運転技術の開発を手がける小馬智行(ポニー・エーアイ)の 3 社で、年内を目途にして「ロボタクシー」と呼ばれる無人運転の配車サービスを手がける合併会社を設立すると発表した
3	豊田合成	5 億元	増資 (生産拡大)	広東省	新工場は 8 月に生産を開始し、今回の開所式を機に本格稼働した。生産品目はエアバッグ、ハンドル、ポップアップフードアクチュエーターとなる。主にトヨタ自動車やホンダの合併自動車メーカー向けに供給する。中国の安全規制強化によるエアバッグの需要拡大に対応する
4	トヨタ紡織	85 億円	増資 (生産拡大)	広東省	広東省広州市南沙区で新工場を同日着工したと発表した。自動車用シートやドアトリムなどを生産し、今後の需要増に備える。製品は、広汽豊田汽車に供給する
5	ホンダ	1 億 9,600 万 元	独資新設	上海市	ホンダの中国法人、本田技研工業(中国)投資は 25 日、上海市に大型二輪事業の新会社を設けると発表。新会社の名称は本田摩托車銷售(上海)。12 月末に設立し、2024 年 4 月から事業運営を開始する予定

(出所)弊社作成

＜自動車業界 外資投資事例 TOP5＞

	社名	投資金額	種類	地域	概要
1	フォルクス ワーゲン (VW)	231 億元	増資 (生産拡大)	安徽省	フォルクスワーゲン(VW)と安徽江淮汽車集団の合併電気自動車(EV)メーカー、大衆汽車(大衆安徽)は 28 日、安徽省合肥市の拠点に追加投資を行うと発表した。生産、開発能力を強化する
2	華晨 BMW	100 億元	増資 (生産拡大)	遼寧省	華晨 BMW は 18 日、遼寧省瀋陽市で車載電池工場の拡張事業を正式に始動した。BMW が開発した第 6 世代の車載電池を生産する。2026 年の稼働を目指す
3	SEW	100 億元	増資 (新製品)	広東省	ギアモーターなどを生産するドイツの SEW が 広東省仏山市に工場を建設する。総投資額は 100 億元(約 1,950 億円)余りで、減速機などを生産する
4	フォルクス ワーゲン (VW)	10 億ユー ロ	独資新設	安徽省	ドイツ自動車最大手のフォルクスワーゲン(VW)は安徽省合肥市にスマート電気自動車(EV)の研究開発(R&D)施設、イノベーション・調達センターを設けると発表した。投資額は約 10 億ユーロ。中国での製品開発にかかるリードタイムの短縮を図る
5	ボッシュ	70 億元	増資(R&D 増強)	江蘇省	ドイツ自動車部品大手ボッシュの中国法人は江蘇省蘇州市に「新エネルギー車(NEV)」向け部品と自動運転技術の生産・研究開発(R&D)拠点を設けると発表した

(出所)弊社作成

<素材業界 外資投資事例 TOP5>

	社名	投資金額	種類	地域	概要
1	金鷹集団	150 億元	増資 (生産拡大)	四川省	7 月 30 日、山東省日照市政府と紙・パルプ事業に関する投資契約を結んだ。RGE 傘下企業が同市で手がける事業に 150 億元の追加投資を行う
2	ワッカー	約 236 億円	増資 (生産拡大)	江蘇省	江蘇省張家港市にある生産拠点の拡張工事に着手した。投資額は約 1 億 5,000 万ユーロ(約 236 億円)で、シリコン製品の生産ラインを新設する。2025 年に稼働する予定。ワッカーによると、同社のシリコン製品は織物や皮革だけでなく、電気自動車(EV)や医療といった分野にも供給している
3	BASF(独)	約 157 億円	増資 (R&D 強化)	上海市	上海市浦東新区にある研究開発(R&D)拠点「上海創新園」の拡張工事に着手。重点市場と位置付ける中国でイノベーション能力を強化する
4	ドモケミカルズ(独)	1 億元	増資 (新製品)	浙江省	浙江省嘉興市で高品質ナイロンの生産を手がける新工場を着工し、年産能力は段階的に引き上げる予定。自動車、電子・電気部品、エネルギーといった分野へ質の高い製品とサービスを提供する見込み
5	LG 化学	300 億ウォン	独資新設	江蘇省	江蘇省無錫市で建設を進めていた華東技術センターが完成したと発表した。中国顧客向け技術サポートを強化する。ソーラーパネル用包装材料や包装フィルム、電気自動車(EV)用材料といった分野の技術ソリューションを提供する

(出所)弊行作成

<企業サービス業界 日系投資事例 TOP5>

	社名	投資金額	種類	地域	概要
1	三菱地所	約 85 億円	独資新設	上海市	上海市長寧区で大規模な複合開発事業に乗り出した。オフィスと商業施設で構成する複合物件 5 棟を開発する。完成は 2025 年末、開業は 26 年春となる見通し
2	リョーサン	5,000 万円	会社新設 (合併)	四川省	中国の自動車エンジニアリング大手の阿爾特汽車技術と四川省成都市に合併会社を設立すると発表した。電気自動車に欠かせない半導体や電子部品を供給し、世界最大の EV 市場である中国のサプライチェーンに本格参入する
3	太洋物産	500 万米ドル	独資新設	山東省	農畜産物商社の太洋物産は 25 日、煙台市に 100%出資の子会社を設立すると発表した。中国でのシロップ需要に対応し、中国販売を強化する
4	日立能源(中国)	3000 万円	会社新設 (合併)	上海市	日立製作所の送配電網子会社、日立エナジーの中国法人の日立能源(中国)は 9 日、中国電機大手の上海電気集団(上海市)と上海市に合併会社を設立したと発表した。中国で洋上風力発電事業を展開する。新会社の名称は「上海電気日立能源電力技術」
5	ビヨンド	2,000 万円	独資新設	広東省	28 日、広東省深セン市に全額出資子会社の必友得科技(深セン)を設立したと発表した。来年 1 月 15 日に開業する

(出所)弊行作成

<自動車業界の戦略提携事例>

	社名	時期	概要
1	ボッシュ	2023 年 2 月	ドイツ自動車部品大手ボッシュの中国法人である博世(中国)投資は北京汽車集団と戦略提携を結んだ。スマートコックピットや、自動運転車を含む「インテリジェント・コネクテッド・ビークル(ICV)」分野の製品開発で提携関係を深める
2	エヌビディア	2023 年 3 月	BYD は米半導体大手エヌビディアと車載ソフトウェア分野で提携すると発表。ソフトウェア定義型自動車(ソフトウェアを中心に車両の機能を組み立てていく自動車、SDV)の開発を進める。「王朝」ブランドと「海洋」ブランドの一部車種に搭載予定
3	ヴァレオ	2023 年 5 月	ヴァレオは 30 日滴滴出行の自動運転部門と戦略提携を結んだと発表した。一定条件下での走行を完全自動化する「レベル 4」に対応する自動運転車向けのスマート安全ソリューションを共同開発する。両社が研究開発(R&D)チームを立ち上げ、システム障害への備えを具現した安全システムの関連技術を開発する
4	广汽豊田	2023 年 7 月	トヨタ自動車と広州汽車集団(广汽集団)の合弁自動車メーカー、广汽豊田汽車(広東省広州市、广汽トヨタ)は 14 日、インターネットサービス大手の騰訊控股(広東省深セン市、テンセント)とデジタル分野に関する戦略提携枠組み協定を交わした
5	起亜	2023 年 8 月	中国法人(江蘇省塩城市)は 12 日、英石油大手シェルの中国法人と充電施設の設置に関する戦略提携を結んだ。起亜はシェルとの提携を通じて充電網の整備を進め、中国電動車市場での需要取り込みを急ぐ
6	モービルアイ	2023 年 9 月	第一汽車は米インテル傘下で自動運転技術を開発するイスラエルのモービルアイと戦略提携の意向書を締結した。自動運転技術搭載車の開発に加え、スマート交通分野でも提携する
7	ロバート・ボッシュ/ シーメンス	2023 年 9 月	広州汽車はドイツのロバート・ボッシュ、シーメンスの各中国現地法人と戦略的提携関係を結んだ。ボッシュとは技術や部品供給などの面で協力関係を強化し、シーメンスとはデジタル工場、スマートインフラ、脱炭素戦略などの面で長期的な協力関係を築く

(出所)弊行作成

<化学業界の戦略提携事例 TOP5>

	社名	時期	概要
1	SK ジオセントリック	2023 年 3 月	中国同業の衛星化学(浙江省嘉興市)と高付加価値化学素材のエチレンアクリル酸(EAA)の生産工場設立に向けた業務協約を交わした。EAA は耐久性や透明性、接合性に優れた環境素材で真空パック、ゴルフボール、強化ガラス、EV バッテリーなどさまざまな産業で活用されている
2	LG 化学	2023 年 4 月	LG 化学は中国コバルト製品メーカーの浙江華友鈷業と共同で電気自動車(EV)向けバッテリー部材の前駆体を生産する工場を韓国全羅北道のセマングム国家産業団地に新設する。2028 年までに計 1 兆 2,000 億ウォンを投じる。韓国国内の前駆体生産能力を拡大し、今後予想される需要急増に対応していく
3	PPG	2023 年 5 月	奇瑞控股集团は 27 日、塗料世界大手の米 PPG インダストリーズと、自動車の色に関する共同研究を始めたと発表した。世界の流行色や中国人消費者の自動車の色に対する嗜好を調査、分析、カラーシミュレーションや新塗料の開発などに取り組む
4	ヘンケル	2023 年 6 月	万華化学集団と、今後 5 年間の戦略提携の覚書を交わした。両社はこれまで消費品、家具、自動車、工業塗料向けの原料供給などで提携関係を構築しており、ブランド力向上を目指す
5	SK ケミカル	2023 年 9 月	廃棄物リサイクル企業である上海悦鯤環境科技(上海市)と廃プラスチックリサイクル事業の共同開発に向けた覚書を交わしたと発表。当社は環境配慮型の高機能性素材であるコポリエステルの原料を安定的に確保できるようになる見通し

(出所)弊行作成

- ☞ 本資料は、参考のみを目的として、MUFG バンク(中国)有限公司(以下「当行」)が作成したものです。当行は、本資料に含まれる情報の適切性、完全性、又は正確性について、いかなる表明又は保証をしません。
- ☞ 本資料に記載されている情報及び意見のいずれも、預金、証券、先物、オプション、又はその他の金融商品又は投資商品の購入又は売却の申出、勧誘、アドバイス若しくは推奨をするものではなく、またそのように解釈されるものでもありません。
- ☞ 本資料に含まれる意見(あらゆる声明及び予測を含む)は、通知なしに変更される可能性があり、その正確性を保証致しかねます。本資料は、不完全又は要約されている場合もあり、本資料に掲げる当事者に関する重要な情報を全て網羅していない可能性もあります。当行(含む本店、支店)及び関連会社のいずれも、本資料を更新する義務を負いません。
- ☞ 本資料に含まれる情報は、MUFG バンク(中国)有限公司(以下「当行」)が信頼できると判断した情報源から入手したものにりますが、当行は、当該情報の内容を保証しない、その適切性、適時性、適合性、完全性又は正確性について、いかなる表明又は保証をせず、一切の責任又は義務を負いません。したがって、本資料に記載されている評価、意見、見積り、予測、格付け若しくはリスク評価は、当行による表明及び/又は保証に依拠されるものではありません。その情報は、受領者自身の判断に代わるものとみなされるべきではありません。受領者は、法律、財務、税務、投資、及び/又は関連する可能性のあるその他の専門的な問題について、専門家の助言を別途取得する必要があります。当行(含む本店、支店)及び関連会社並びに情報提供者は、本資料の全部又は一部の使用に起因するいかなる直接的又は間接的な損失又は損害について、いかなる責任を負いません。
- ☞ 過去の実績は、将来の業績を保証するものではありません。本資料に含まれるいかなる商品の業績の予測について、必ずしもその将来実現する又は実現できる業績を示すものではありません。
- ☞ 当行は、本資料の著作権を保有し、当行の書面同意なしに本資料の一部又は全部を複製又は再配布することが禁止されます。当行(含む本店、支店)又は関連会社は、当該複製又は再配布によって生じる、いかなる当事者に対する責任を一切負いません。

MUFG バンク(中国)有限公司 企業戦略部 戦略プロモーション Gr

(商 号) MUFG バンク(中国)有限公司

(住 所) 上海市浦东新区海陽西路 399 号前灘時代広場 17-20 階